

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	ごみ減量推進課 原島 誠		
		主管課(関係課)【2】	ごみ減量推進課		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
環2-2	循環型社会の構築	持続可能な環境に配慮した社会を確立するために	環境にやさしいまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	ごみ問題は自治体における共通の課題です。本市が利用する広域的な廃棄物の最終処分場である二ツ塚廃棄物広域処分場の延命は、本市のみならず多摩地域にとっても大きな課題となっています。このため、本市では家庭ごみの有料化や、生ごみ電動処理機などの購入助成、冊子などによる啓発活動を進めてきた結果、市民意識の高まりや協力により、市民一人一日当たりのごみの排出量とリサイクル率が全国でもトップクラスとなっています。今後は、市民、事業者、行政によるごみの発生抑制やごみの減量化をさらに推進するとともに、発生したごみの再使用・再生使用を促進し、循環型社会の構築に取り組むことが求められています。このため、エコプラザ西東京を拠点とした循環型社会構築のための啓発活動を充実させるとともに、市民の自主的な取組に対する支援、ごみ収集に関する事業者への対応の強化といった多面的な取組を展開していくことが必要です。		◆ごみ発生の原因を抑制するしくみの構築 ◆エコプラザ西東京を拠点としたごみの発生抑制・再使用・再生使用の促進	できるだけごみを出さないという意識づくりや、ごみの減量化・再使用・再生使用の取組を通して、環境負荷の少ない循環型社会の構築をめざします。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
	◇平成25年4月より「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」が施行され、レアメタルなどの有用金属の再資源化を促進するための措置を講じることにより、廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保を継続して図る必要があります。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	ごみの発生抑制・再使用・再生使用及び廃棄物処理対策に努めます	リサイクル等の推進		

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「ごみの減量化やリサイクルの推進など循環型社会の構築」に対する満足度	目標値	56%			単位	%	
		算出式・説明	持続可能な社会を構築するために、市が行っている「ごみの減量化やリサイクルの推進など循環型社会の構築」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	52.9	52.9	52.9	51.6		
				達成率	94%	94%	94%	92%		
	指標2	名称	一人当たりのごみ収集量(ごみ原単位)	目標値	564 g			単位	g	
		算出式・説明	ごみの発生抑制や減量化の取組の効果を知らうえで、一人当たりのごみ収集量の把握は重要です。一人当たりのごみ収集量を減らすことを目標とします。	実績値	567.1	575.2	569			
				達成率	99%	98%	99%	0%		
	指標3	名称	資源化率	目標値	36%			単位	%	
		算出式・説明	平成24年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画では、平成33年度における資源化率の長期目標を37.1%と設定しています。今後も引き続きこの資源化率の水準を達成できるよう、ごみの再使用・再生使用の促進に取り組めます。	実績値	33	33.7	33.5			
				達成率	93%	95%	94%	0%		
指標4	名称		目標値				単位			
	算出式・説明		実績値							
			達成率							
達成率の平均値				95%	96%	96%	31%			

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	52.8%	満足度(%)	51.6%
満足度(平均ポイント)	0.33	満足度(平均ポイント)	0.35
重要度(%)	85.6%	重要度(%)	84.6%
重要度(平均ポイント)	1.46	重要度(平均ポイント)	1.39

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	今後の方針	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化	
		施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			
【一次評価後の事情変更等】						
説明【23】						
【行革本部評価】						
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	循環型社会の構築については、小型家電や剪定枝など資源物回収の拡大などによるごみの減量化を進めるとともに、メールによる粗大ごみの受付などのサービス向上にも取り組んできました。市民意識調査結果では、重要度・満足度ともに高いことから、実施コストを抑制しつつ、施策内容の充実に努めるべきと判断しました。今後も財政負担とのバランスを考慮しつつ、市民の理解と協力を得ながら、ごみ排出量の減量化や資源化率の向上に努めていく必要があります。				
	施策実施方針【22】	Ⅲ	成果の向上を図りつつ、コストを抑制する施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

環2-2 循環型社会の構築

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	ごみ収集業務最適化システムの導入に向けた調査・検討	ごみ減量推進課	最適な収集ルート検討のため、ごみ収集業務最適化システムの導入に向けた、調査・検討を行います。
	環境美化に向けた取組の推進	ごみ減量推進課	路上喫煙の防止やポイ捨ての防止地区を指定して、清掃や美化・喫煙マナー推進員の見回りにより、まちの美化と安全を推進していきます。現在、4駅を防止地区に指定しています。年5回市内5駅において、環境美化キャンペーンを実施しています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
111,829	37,723	74,106	改善・見直し (平成23年度)	中	可燃ごみとして燃やされてしまう剪定枝や生ごみ、捨てられてしまう貴金属類を資源化、再生使用することにより循環型社会を推進します。
0	0	0			平成29年度には、全市域の収集を全面委託する予定にしており、適正な委託台数及びルート等の調査・検討が必要です。
8,151	6,504	1,647			市民からは路上喫煙に対する苦情などもあり、まちの美化と安全をさらに推進していく必要があります。
119,980	44,227	75,753			